

【プロジェクト概要】

岩手県遠野市宮守町の宮守川上流地区は、平成8年に182戸の農家がまとまり「一集落一農場」構想を掲げて、宮守川上流生産組合を設立し、約100haの農地で稲作等を行ってきました。また、平成15年には農産物直売所、平成23年には農産加工場とどぶろく製造場を整備し、生産から加工、販売まで一貫した事業体制を整え、運営を行っています。また、近年ではブルーベリー園やわらび園を活用した農業体験や観光など新たな事業を展開しつつあります。

しかし一方で、組合員や地域住民の高齢化により、地域農業を支える人手不足や、大型機械が入りにくい生産性の低い農地の維持保全が大きな課題となっています。このような状況のなか、令和3年に国の指定棚田地域の認定を受け、棚田を核とした地域振興と地域農業の担い手確保の一環として、関係人口を拡大する取り組みに着手しましたが、成果に結びつくところまでに至っていない現状です。



今回募集するプロジェクトでは、新たな視点で地域の現状把握と課題の整理を行い、課題解決に向けて、共に挑んでいきたいと考えています。農業の担い手不足、農地の維持保全、関係人口づくりなど、多くの農村地域が抱える課題に、自身の経験やスキルを生かして一緒に取り組めるパートナーを求めています。将来的には地域組織の運営、コーディネートができる能力を身に付け、私たちと共に持続可能な地域づくりに取り組みんで頂きます。

宮守川上流地域の新しい一集落一農場構想（＝シンー集落一農場）の実現に向け、一緒に活動してみませんか。

【パートナー】

○桶田 陽子（農事組合法人 宮守川上流生産組合 代表理事組合長）
岩手県盛岡市生まれ。大学卒業後、北海道農業改良普及員として8年間勤務。退職後、2年間のJICA海外協力隊員（インドネシア派遣）を経て、平成19年宮守川上流生産組合組合に就職。就職を機に同町に移住。平成23年加工部長として加工事業を立ち上げ、令和6年から現職。

【求める人物】

- ・ 農業農村、地域課題に関心があり、主体的に取り組む方
- ・ 自ら積極的にコミュニケーションをとり、地域住民との関わりを楽しめる方
- ・ 野外での労働作業に熱心に取り組む方
- ・ 普通自動車運転免許を有し、自立的に活動できる方
- ・ 資料作成や情報発信を行うためのスキルがある方

【ミッション / ロードマップ】

1年目：過去に受入れた研修生へのアンケート調査の実施
地域住民との交流を通じた地域資源や魅力の再確認作業
ホームページや動画作成、SNSでの情報発信。地域での課題解決力の習得

2年目：「棚田 fun ファンクラブ」の活動メニューの充実と関係人口の拡大につながる取り組み
気軽に参加できる農作業のアルバイトの募集や研修重視の体験ツアーなどの企画と実践

3年目：農作業応援や移住につながる関係人口の取り組み強化
地域組織の運営やコーディネート能力の習得